

# I 山口市の段階的なスーパーシティづくり

本市は、1023km<sup>2</sup>の広大な市域を有する中、長い歴史の中で積み重ねられてきた歴史や文化をはぐくみ、行政、文化、教育、商業、観光等の都市機能が集積する山口都市核、新山口駅を始めとする広域的な交通結節機能を有する特性を生かし、未来に向けた新たな人材や産業を創出する小郡都市核、人口減少、超高齢社会が進展し、様々な地域課題を抱える中山間地域という、「歴史・文化都市、新産業都市、中山間」という日本の縮図ともいえる都市構造である。

こうした中、市内21地域において、「個性と安心の21地域づくり」を進め、地域住民が主体で個性と特長を生かした地域づくりが進んでいる。

|      |                        |
|------|------------------------|
| 面積   | 1023.23km <sup>2</sup> |
| 人口   | 192,915人               |
| 世帯数  | 87,561世帯               |
| 高齢化率 | 29.8%                  |

(令和3年4月1日現在)



市内21地域において、それぞれの個性や特長を生かした地域づくりが進む

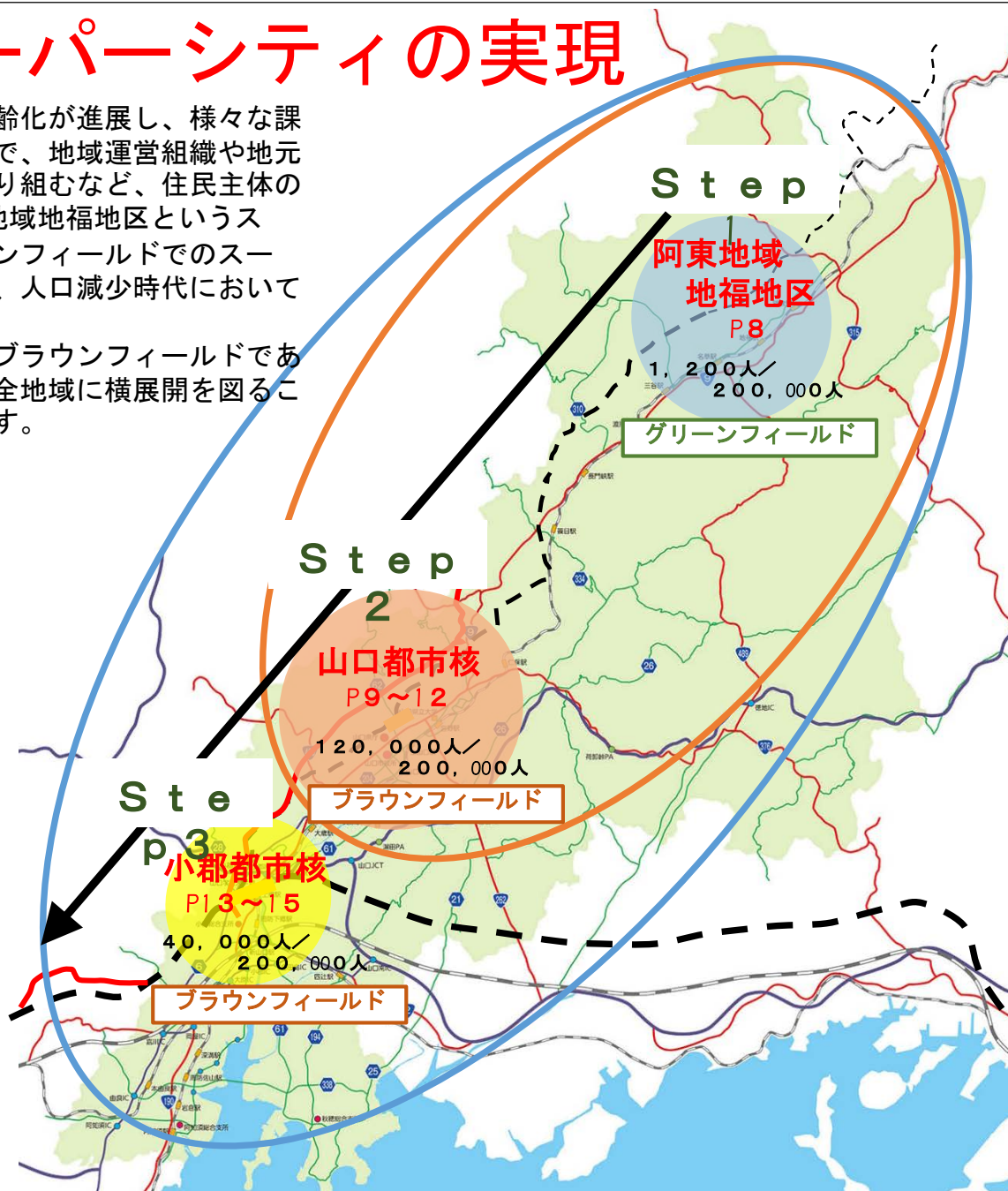


# 20万人規模のスーパーシティの実現

広大な市域を有する本市の中でも、人口減少や高齢化が進展し、様々な課題を抱える課題先進地である阿東地域の中山間地域で、地域運営組織や地元NPO法人等が連携して、移動販売や介護予防等に取り組むなど、住民主体の地域づくりが進んでいるこの人口約1100人の阿東地域地福地区というスモールケースで新たなまちをつくる、いわばグリーンフィールドでのスーパーシティの取組を、地域住民と一体となって進め、人口減少時代においても持続可能なスーパーシティモデルを構築する。

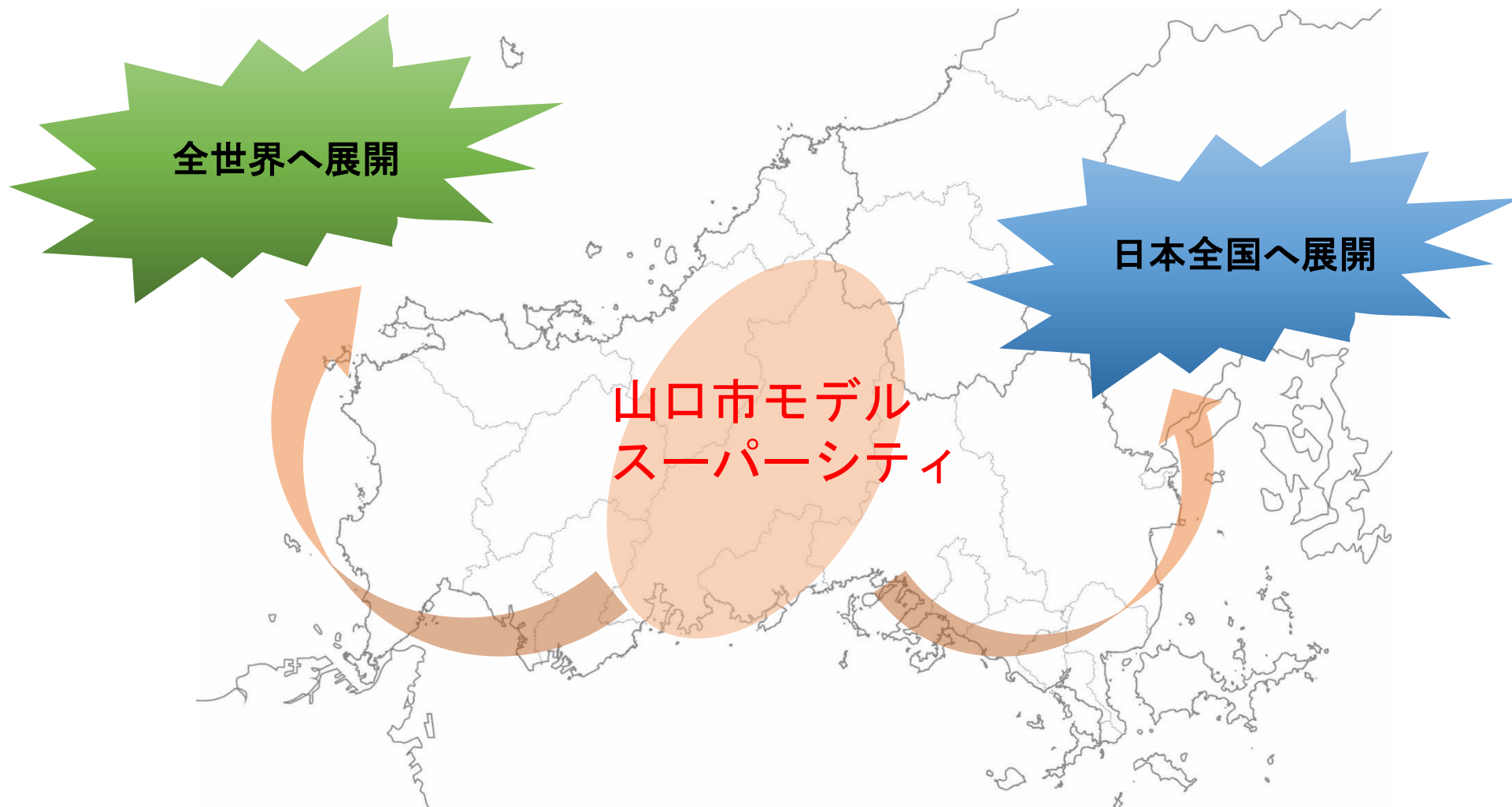
そして、このモデルを12万人の人口を抱える、ブラウンフィールドである山口都市核へ展開し、更には、小郡都市核を含む全地域に横展開を図ること、20万人規模のスーパーシティの実現を目指す。

段階的に展開する  
山口モデルの  
スーパーシ  
ティ



## 山口市モデルのスーパーシティを全国へ、また、全世界へ展開

日本を始め、全世界において、20万人から30万人規模の都市が多いことを踏まえ、この山口市モデルの20万人、30万人という中規模のスーパーシティを日本全国、更には、全世界へ横展開を図っていく。



( S t e p  
II 1) 阿東地域地福地区のスーパーシティづくり



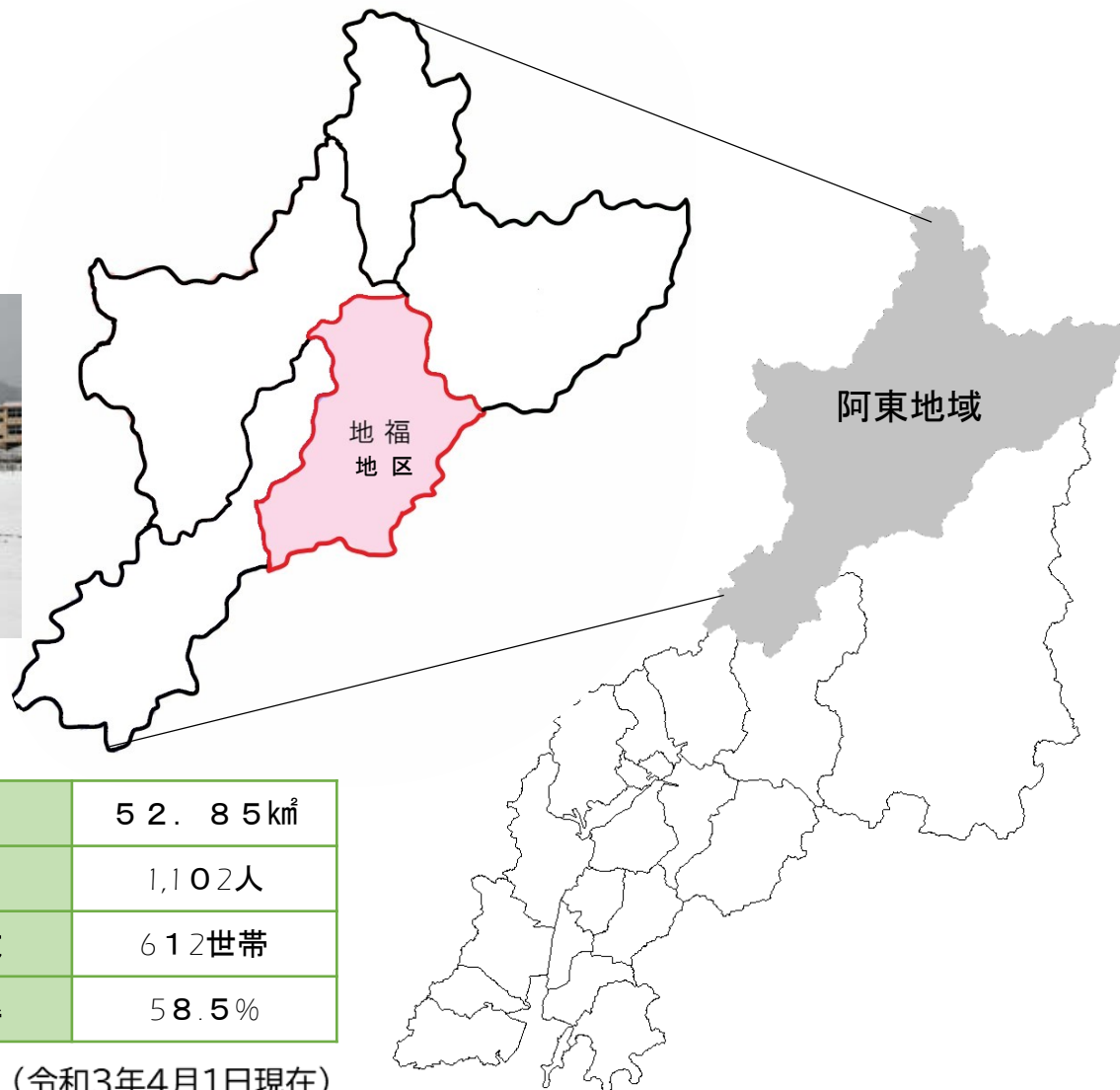
## Step 1で展開を想定する阿東地域地福地区

## I 概要

阿東地域地福地区は、平均標高300m前後の地域で、夏場は涼しく、冬場は積雪のある山間部に位置し、豊かな自然に恵まれた地区である。古くから稲作が盛んで、県内でも有数の稲作地帯のひとつであり、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統行事「トイトイ」をはじめ、固有の伝統文化や歴史などの地域資源を有している。一方で、人口は約1,100人、世帯数612世帯、高齢化58.5%と人口減少や少子高齢化が進んでいる。こうした中、近年は、地福地区をテストフィールドとした製品開発を行うため、大手企業のサテライトオフィスの進出の動きもある。



地福トイトイ



|      |                      |
|------|----------------------|
| 面積   | 52.85km <sup>2</sup> |
| 人口   | 1,102人               |
| 世帯数  | 612世帯                |
| 高齢化率 | 58.5%                |

(令和3年4月1日現在)

## 事例No.17 <山口県山口市阿東地域地福地区> 「ほほえみの郷 トイトイ」

|    |       |      |      |     |
|----|-------|------|------|-----|
| 交通 | 観光・交流 | 環境保全 | 行政窓口 | 特産品 |
| 店舗 | 飲食店   | GS   | 買物支援 | 防災  |
| 医療 | 福祉    | 子育て  | 教育   | その他 |

○地区唯一のスーパーが撤退したことを受け、全世帯からの寄付を経て設立した「NPO法人ほほえみの郷トイトイ」が、日用品と食料品を販売する店舗などを運営し、地域住民の交流の場づくりと買い物の場の提供、移動販売などによって地域住民の生活を支えている。

○開業後、地域の大きな課題である地域福祉事業に着手し、介護予防・日常生活支援事業、空き家利活用、地域食堂なども展開。

### 地域概況

- 人口1,203人、632世帯、高齢化率55%（H31）
- 地福地区を含む旧阿東町域は、中国山地に囲まれた豪雪地帯
- 山口市中心部からは車で約40分
- H17に1市4町による山口市誕生の後、旧阿東町はH22に編入合併
- H22に地区唯一のスーパーが撤退し、買い物先の確保が課題

### 取組内容

#### 地域スーパーToiToiの運営

- 食料品や地元で採れた野菜などを販売。
- 地元女性グループ「トイトイ工房さん」が手づくりの惣菜を販売。

#### 移動販売トイトイ号の運営等

- 地福地区及び阿東地区の各所へ巡回販売。
- 地域支援コンシェルジュサービス「『ごようききふくちゃん』（離れて暮らす家族への画像撮影・送信による見守りサービス）も同時に実施。



#### 交流スペースToiToiの運営

- 交流スペースを設け、各種講座や教室などを開催。
- 介護予防事業として、「元氣いきいき広場」、「認知症カフェ」を展開。
- バス待ち時間や買い物ついでに住民交流の場としても提供。



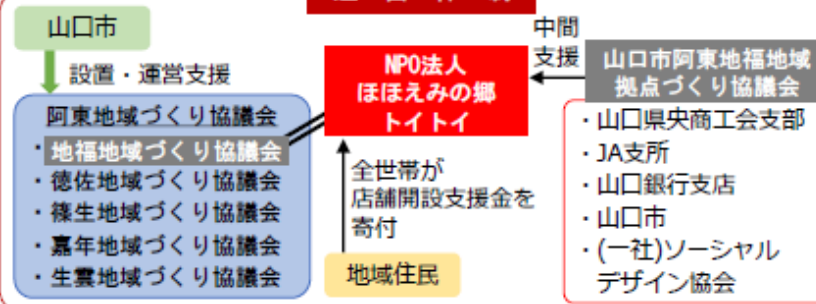
#### 地域食堂事業の展開

- 高齢者の孤立化を防ぐとともに子どもの居場所づくりとして、高齢者や子どもなどが世代間交流しながら一緒に昼食をとる地域食堂を展開。
- ・原則週1回、料金300円（学生以下は無料）

### 市の地域コミュニティ政策

- ・H17の市町村合併の後、地域ごとのコミュニティ活動を推進するため、全地区で地域づくり協議会に交付金を交付
- ・阿東地区では、H22の市町村合併の後に阿東地域づくり協議会を設置

### 運営体制



### 主な国の支援策

- ・食と地域の交流促進交付金（農林水産省、H24）
- ・地域づくり活動支援体制整備事業（国土交通省、H27）

## 阿東地域地福地区における課題

- 独居若しくは夫婦のみの高齢者世帯が増加しており、健康状態の把握や見守り等、高齢者が孤立化防止に向けた地域包括ケア体制の構築が課題である。
- 当該地区は、広大な地区内に家が点在しており、鉄道、バスといった既存の公共交通はあるものの、集落周辺を運行する生活バスは1日1往復で週2回のみの運行となっており、また、鉄道駅や路線バスの停留所までは距離もあり、住民の地域内での移動手段として十分に機能していない面がある。
- 地区内にはタクシー事業者が1社営業をしているが、市からスクールバス等の事業も受託する中、現行の人員体制では、地区の中央部にある商業施設、診療所への移動や、約30km離れた第二次救急病院までの、買物、通院といった住民のニーズに応えることが難しく、こうした生活に欠かせない移動手段の確保は重要な課題である。
- 主要産業である農業においては、就農者の高齢化や収入が少なく不安定であること等を理由とした離農、知識や経験がないことを理由とした離農者の子の就農の回避などの実態があり、作業の効率化・省力化や利益の最大化、新たな担い手の確保・育成や耕作放棄地の拡大が課題となっている。
- 少子高齢化が進展する中山間地域においてはマンパワーの不足を解消するためには、労働力のある若者が必要であるが、若者の流出が著しいことから、若者等の新たな人の流れを生み出す仕組みづくりや、働く場の創出や子育てしやすい環境づくり、空き家等の地域資源を活用したサテライトオフィスの誘致等を行い、若者の定着や流入に向けた取組が求められている。
- 若者の転出超過が続く中、地域の小中学生が希望をもって、地域で学び、地域への愛着を育み、地域への定着を促す取組や、人生100年時代において、子どもから高齢者まで、あらゆる世代が生きがいを持って暮らせるように、中山間地域においても、生涯学びつづけられる環境づくりが求められている。
- 豪雪地帯であり、冬場における風雪による災害や、平成25年に山口県と島根県を襲った豪雨災害において、大きな被害を負っている中、地域住民の防災に対する意識は高く、独居若しくは夫婦のみ高齢者世帯が多い本地区においては、災害時の要援護者等の避難方法の確立が課題となっている。
- 自宅に現金を保有している高齢者が多く、タンス預金を狙った訪問販売等が地区内を横行していること等から、高齢者が自宅に現金を置くことなく、地域内で安心して日常生活の買い物や通院が可能となるような仕組みが必要である。



地福地域づくり協議会やNPO法人ほほえみの郷トイトイが中心となって、地域住民が主体となった地域課題の解決に取り組みが進む中、広い地域の中で、歯止めが利かない人口減少や高齢化等により、コミュニティの力によって成り立っていた支え合いも難しくなってきている。



複数分野の課題を解決し、地域の持続可能性を高めるためには、デジタル技術を活用した先端的サービスの導入とともに、地域課題の解決に向けて、支障となっている規制緩和を同時に、一体的、包括的に推進するスーパーシティの取組が、中山間地域においては、コミュニティの再構築や今後の地域再生に向けて重要である。



目指す姿

地域住民が中心に、イマとミライの住民が笑顔でいきいきと暮らし続ける地福地区

視 点 1

高齢者が安心して暮らせる地域

超高齢化が進展する中山間地域において、高齢者が、100歳まで、住んでいる場所で安心して暮らし続けられる地域づくりを推進します。



視 点 2

若者がチャレンジできる地域

若者の流出が大きく進む中山間地域においても、若者がチャレンジができるように、中山間らしい、就業の場や学ぶ場、子育てしやすい環境づくりを行うことで、若者の定着や流入を促進していきます。



視 点 3

豊かな自然とデジタルが融合する地域

阿東地域地福地区の有する豊かな自然の中で、高齢者でも、気軽にデジタル技術に親しみながら、生活の質の向上が図られる環境づくりを行い、豊かな自然とデジタルが融合する新たなモデルとなる中山間地域づくりを推進します。



先端的服务 1

データ連携

先端的服务 2

医療・介護

先端的服务 3

移動・物流

先端的服务 4

仕事

先端的服务 5

教育

先端的服务 6

支払

先端的服务 7

防犯・防災

地域住民が将来にわたって、安心して笑顔で幸せに暮らし続けられる地域を実現

## 全体像

### 先端的サービス 1（データ連携）

- ・生体認証を活用したマイナンバーの多目的利用
- ・顔認証機能を活用した住民の幸せ度のデータ化

### 先端的サービス 2（医療・介護）

- ・コミュニティナースを活用した高齢者支援
- ・デジタル健康手帳の導入

健康・介護状況データ

### 先端的サービス 3（移動）

- ・地域内限定免許の創設
- ・地域内限定車両による移動

移動データ

### 先端的サービス 4（仕事）

- ・社会課題等に取り組む企業誘致による地域活性化
- ・スマート農業導入による地域活性化

出荷・生産データ

### 先端的サービス 5（教育）

- ・地域の未来や自分の人生を変えるインターナシップ
- ・支え合いマッチングサービスの導入

地域課題データ

### 先端的サービス 6（防犯・防災）

- ・AIを活用した避難支援
- ・カメラ・センサーによる防災情報の取得

防犯カメラ・水位・土砂データ

### 先端的サービス 7（支払）

- ・お金とデータの地域内循環
- ・地域ポイントの導入

購入・支払・ポイントデータ

## データ連携基盤

### 導入する技術

- ・デジタルID
- ・ブロックチェーン
- ・サイバーセキュリティ
- ・AI
- ・ドローン
- ・自動走行

### 基盤整備

- ・光ファイバや地域BWA等の情報通信網の整備
- ・地域住民に対して、タブレット端末やスマートスピーカーの配置
- ・スマート防犯灯や水位、土砂センサー等の設置

### 地域資源

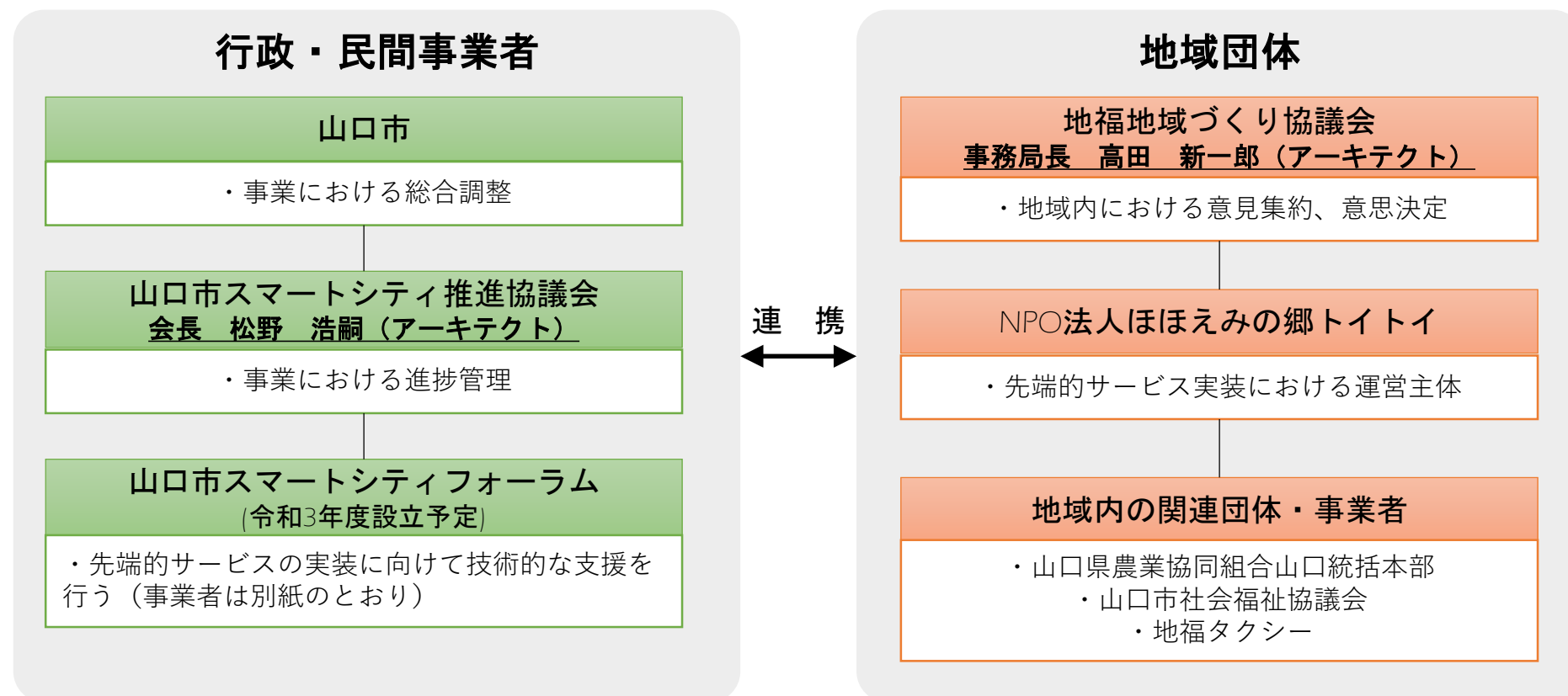
- ・地域拠点「ほほえみの郷トイトイ」（移動販売車）
- ・さくら小学校・阿東中学校
- ・旧三谷小学校（廃校）、空き家

## スーパーシティ構想の推進体制

今回、スーパーシティ構想を推進するにあたり、スマートシティの推進に向けた、方向性や具体的な取組等の検討を行う本市の諮問機関である「山口市スマートシティ推進協議会」を中心に取組を進めるとともに、本市のスマートシティの推進に協力いただく事業者で構成する「山口市スマートシティフォーラム」を、推進協議会内の組織として令和3年度に設立し、先端的サービスの実装における技術的な支援を行い、構想を強力に推し進める。

また、区域指定を行う阿東地域地福地区においては、地域の将来ビジョンを描き、それに向けた課題解決等に取り組む等、地域における意思決定機関である「地福地域づくり協議会」を中心に、地域内で唯一のスーパーや移動販売、交流の場、介護予防などの地域福祉事業等、地域住民の生活全般の地域課題に取り組む地域運営組織である「NPO法人ほほえみの郷トイトイ」や地域内の関連団体や事業者と連携して、スーパーシティ構想の実現に向けた取組を進めていく。

アーキテクトについては、市のスマートシティ推進の中心的な役割を担う「山口市スマートシティ推進協議会」会長で、山口大学副学長である松野浩嗣氏と、地福地区において、「地福地域づくり協議会」及び「NPO法人ほほえみの郷トイトイ」の両組織の事務局長を担う高田新一郎氏の両氏をアーキテクトとすることで、行政を始め、民間事業者と地域が一丸となって、スーパーシティ構想の実現に向けた取組を進めていく。



| No | 実施する事業                                   | 事業を実施する<br>主要な事業者の候補                   |
|----|------------------------------------------|----------------------------------------|
| 1  | データ連携基盤整備事業                              | 西日本電信電話（株）<br>エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ（株）   |
| 2  | 生体認証を活用したマイナンバーの多目的利用<br>（先端的サービス①）      | 日本電気（株）                                |
| 3  | デジタル化による中山間地域包括支援体制の構築<br>（先端的サービス②）     | NECネットエスアイ（株）                          |
| 4  | 中山間地域内限定の移動手段の確保<br>（先端的サービス③）           | アイシン精機（株）<br>東京海上日動火災保険（株）             |
| 5  | 地域資源を活用した新たな雇用の創出や地場産業の活性化<br>（先端的サービス④） | 西日本電信電話（株）<br>（株）エネルギー・コミュニケーションズ      |
| 6  | 地域の未来や自分の人生を変える究極のインターンシップ<br>（先端的サービス⑤） | （株）コア<br>西日本電信電話（株）                    |
| 7  | 誰一人取り残さない避難支援体制の構築<br>（先端的サービス⑥）         | 日本電気（株）<br>NECネットエスアイ（株）<br>L I N E（株） |
| 8  | お金とデータの地域内循環<br>（先端的サービス②）               | （株）pring<br>日本電気（株）                    |



### Ⅲ 阿東地域地福地区における先端的サービスの概要

## 先端的サービス１：生体認証を活用したマイナンバーの多目的利用（データ連携）

### 背景

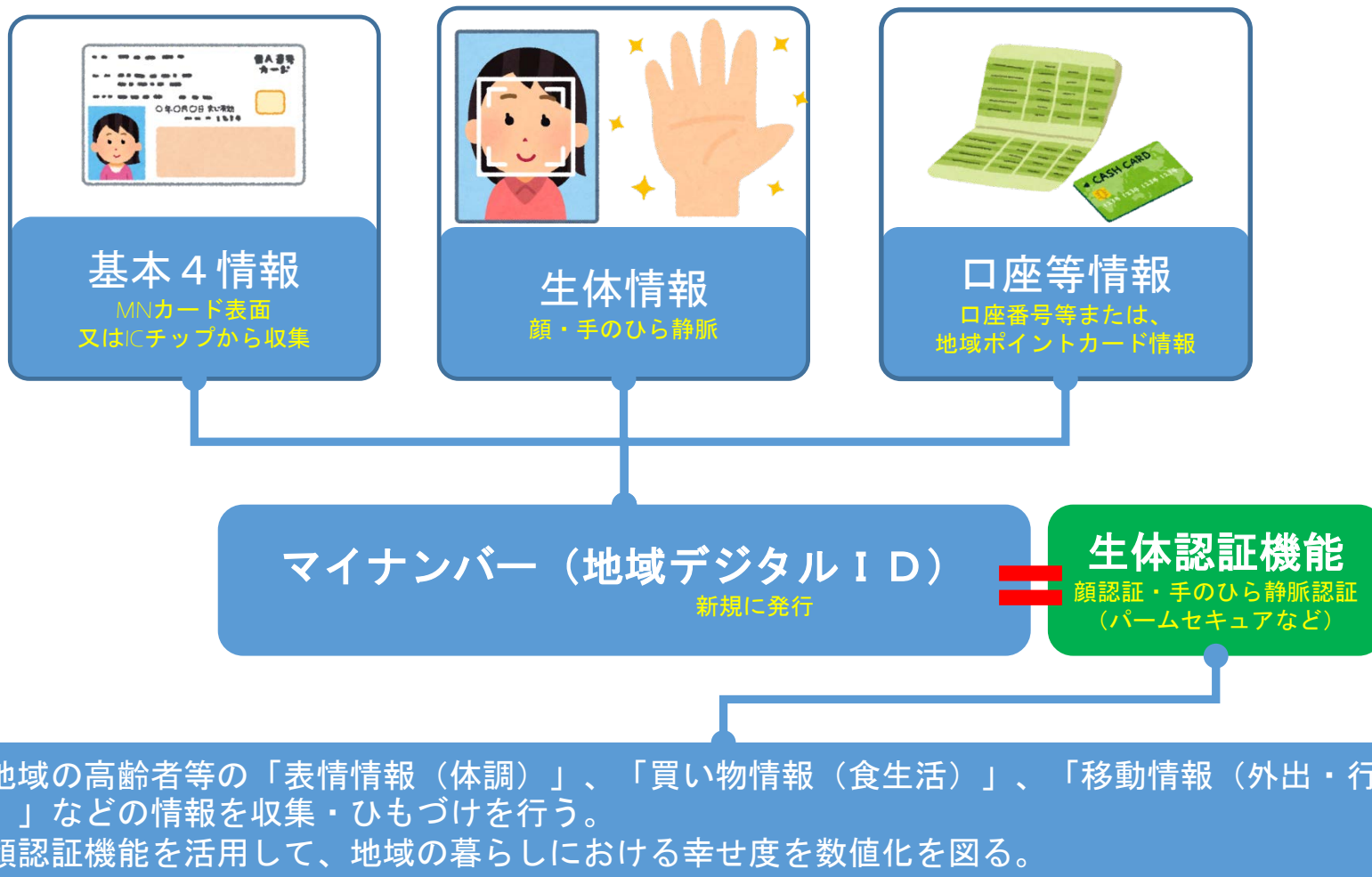
- マイナンバーカードの健康保険証として利用が予定されている中、今後は運転免許証との一体化も検討されているなど、マイナンバーの利用が拡大している。
- スマートフォンや銀行のATM等のセキュリティ対策として、顔や指紋等の生体情報による認証方法が普及しているとともに、生体認証の技術も日々向上しており、その認証精度も高い水準にある。

### 地域課題

- ◆ マイナンバーカードの取得率は高くなっているが、依然、マイナンバーの提供に関する抵抗感が高く、医療情報や銀行口座などの様々な分野において、マイナンバーと紐づけをおこなうことに対して、地域住民の理解を得るにはしばらく時間を要する。
- ◆ 官民で保有している医療や介護をはじめとした様々なデータが、バラバラに管理されている中、各個人がデータを照会する場合やデータ連携して分析するためには、マイナンバー等のデータの紐づけるキーとなるIDが必要である。

あらゆる世代が手ぶらで、気軽に様々なサービスを受けれる環境の構築

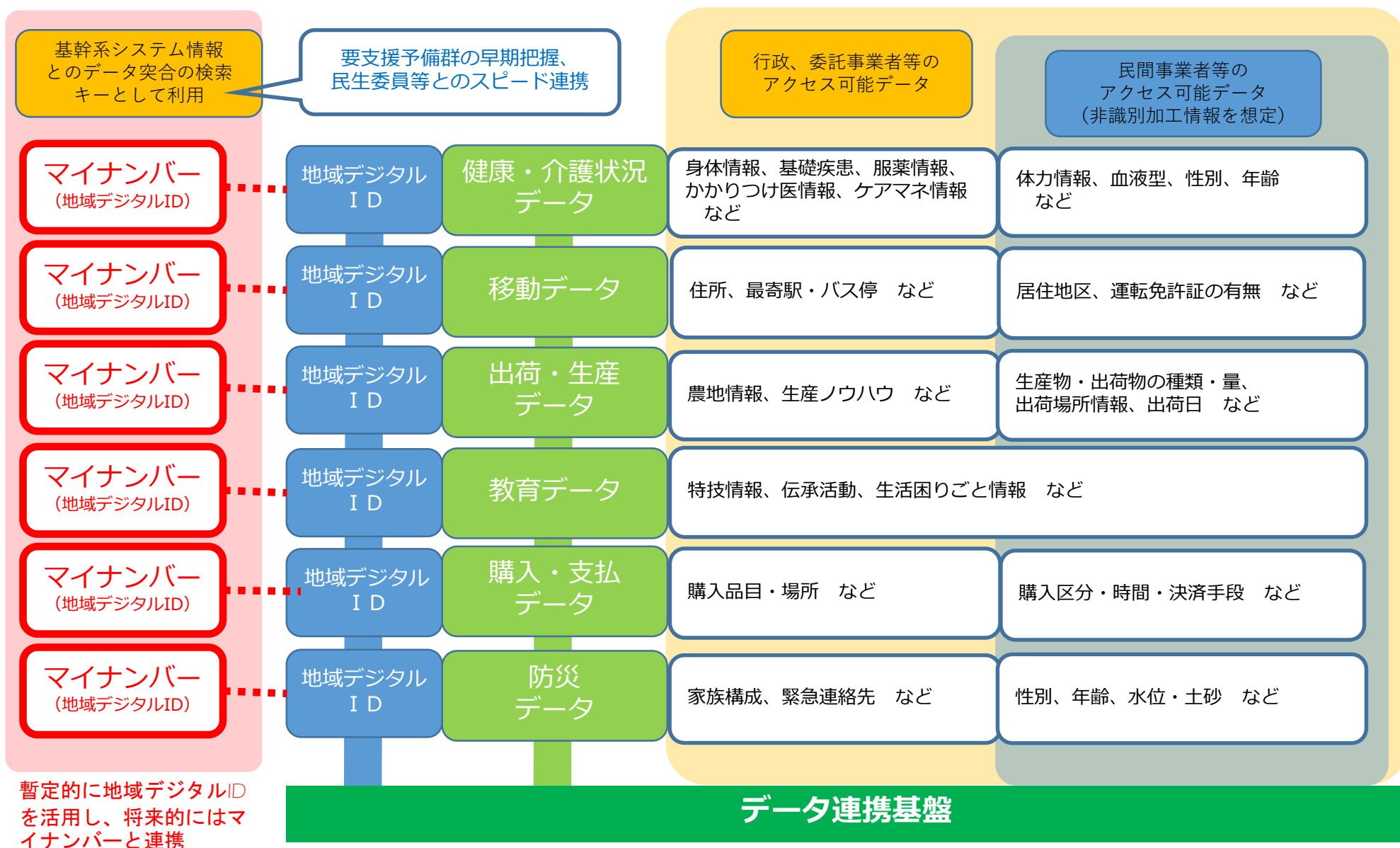
## 生体認証を活用したマイナンバーの多目的利用



データ連携基盤へ ⇒ 他分野の複数データを活用し、高齢者等見守りなどに有効活用

# 先端的サービスの概要（１）【データ連携】

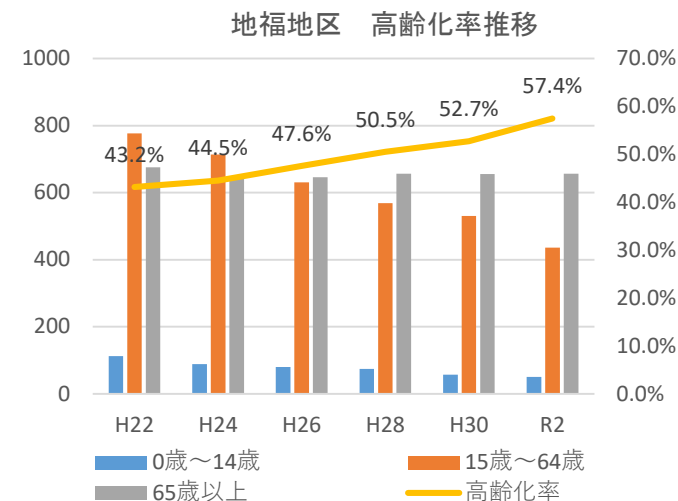
## マイナンバーをキーとしたデータ活用のイメージ



## 先端的サービス２：デジタル化による中山間型地域包括支援体制の構築（医療・介護）

### 背景

- 阿東地域地福地区においては、高齢化が進み、独居若しくは夫婦のみの高齢者世帯が増加している。
- 高血圧や糖尿病等、日常的に服薬等のコントロールが必要な疾患を持つ方多い中、認知症等により、服薬自己管理が困難な高齢者が増えている。
- 高齢化が進む中、見守りする人も高齢化しており、地域内の見守り機能が低下している。
- 困りごとがあっても、近所の人に頼みづらいと思っている高齢者が多い。
- 加齢等による身体機能低下を来す高齢者が多い中、地域内にリハビリ系のサービスがない。
- 高齢化する地域内においても、高齢になっても役に立ちたいと思う潜在的な支援者がいる。
- 阿東地域では、高齢者が生活していくうえで、移動や買い物、草刈りや庭木の剪定、身近な家事援助など、様々な生活支援のニーズがある。
- ホームヘルパーやシルバー人材センターにおいてもサービスを提供するマンパワーが確保できない状況である。

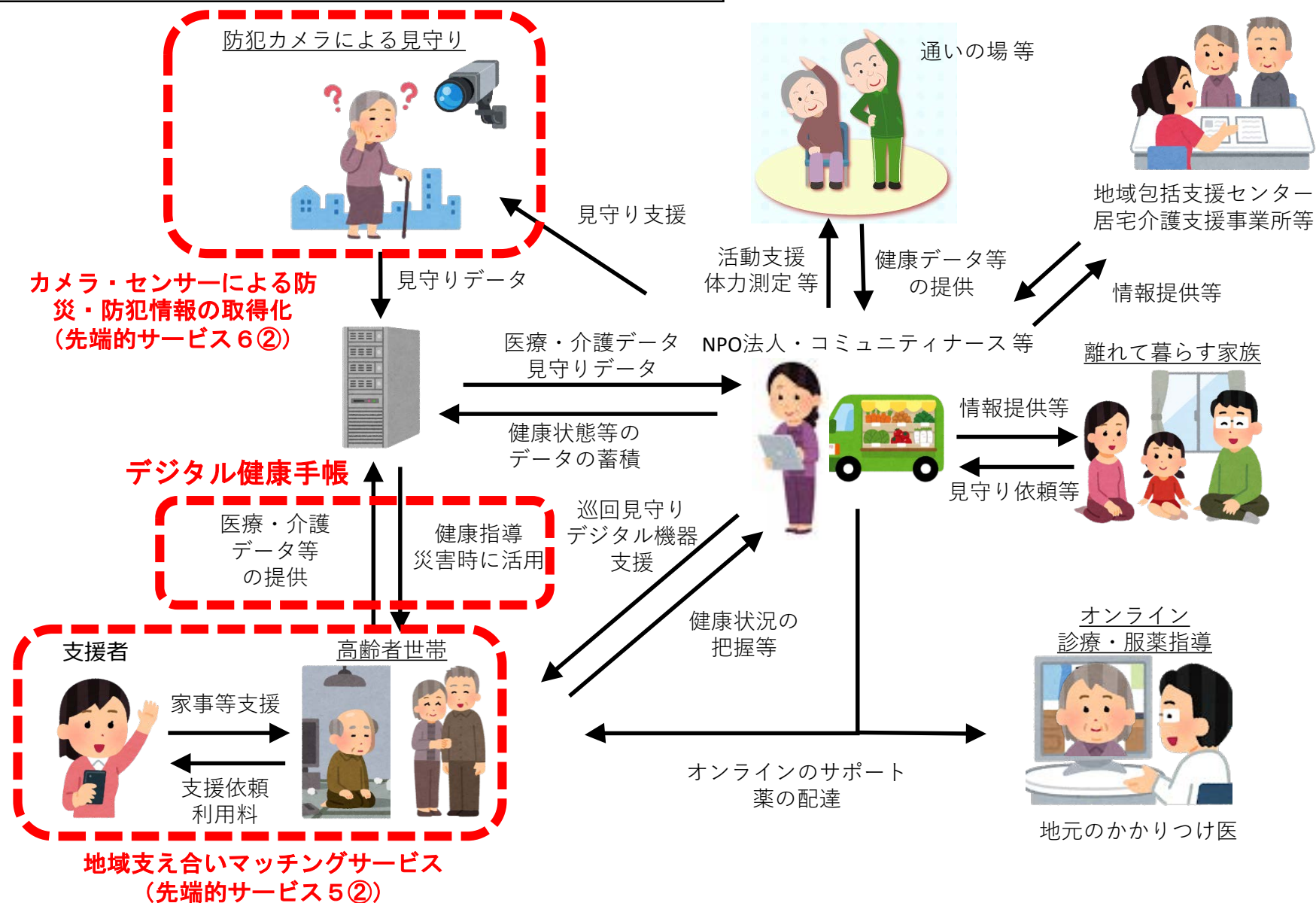


- ◆ 阿東地域地福地区においては、独居若しくは夫婦のみの高齢者世帯が増加している中、健康状態の把握や見守り、高齢者が孤立化防止等に向けた地域包括支援体制の構築が必要である。
- ◆ 地域内交通が充実していない中、地福地区の中央部にある医院又は、約30km離れた第二次救急病院まで通院するための移動手段の確保に課題がある。
- ◆ 離れて暮らす家族においては、独居等で暮らす高齢者の健康状態への心配がある。
- ◆ お薬手帳、健康手帳、介護予防手帳、母子健康手帳、高血圧手帳、糖尿病手帳等、現行ではバラバラに紙媒体で管理されており、緊急搬送時や災害発生時等に独居高齢者等の医療情報・介護情報等が把握しにくい。

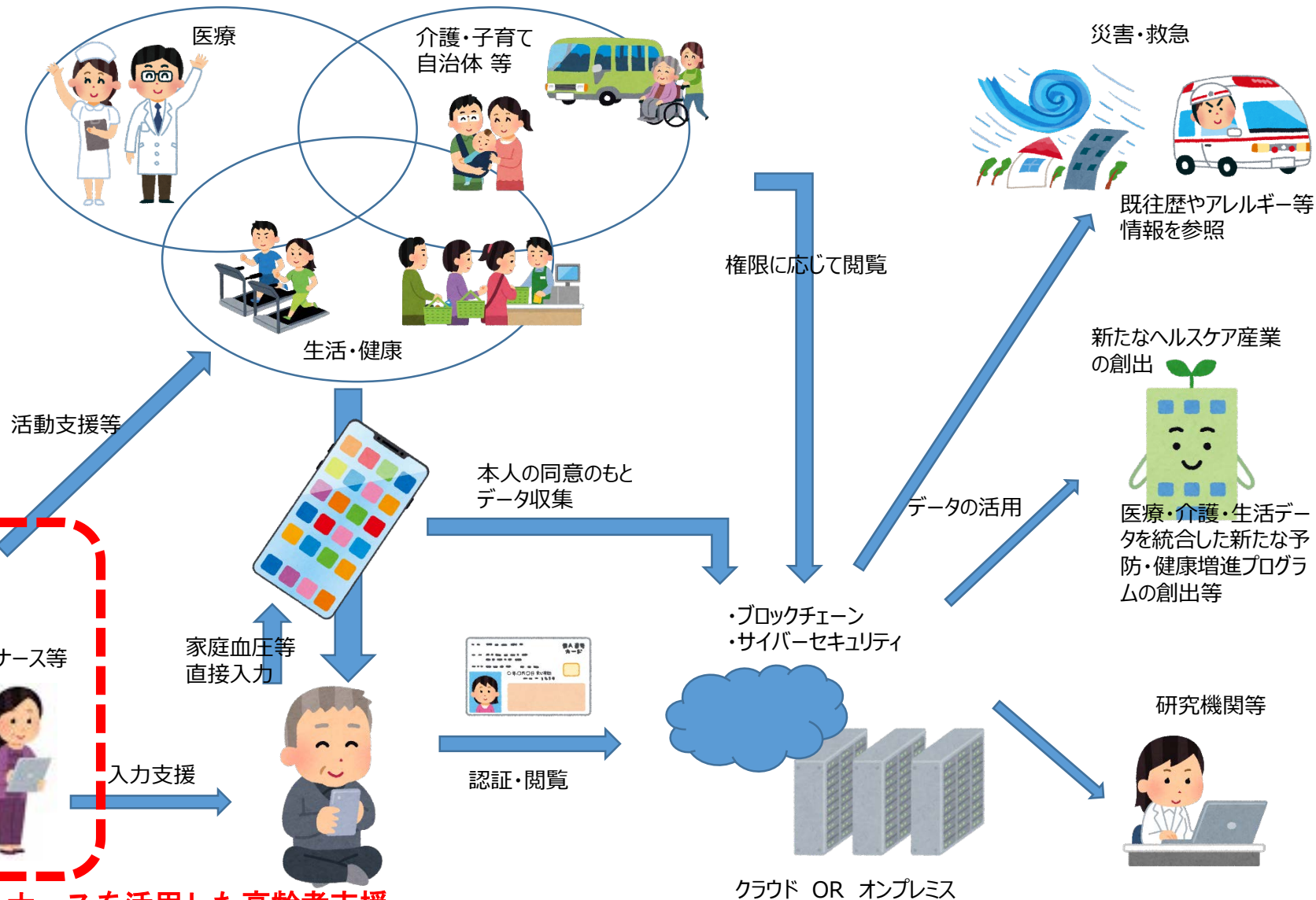
地域での支えあいとデジタルが融合した、中山間型地域包括支援体制の構築



①コミュニティナースを活用した高齢者支援



## ②デジタル健康手帳



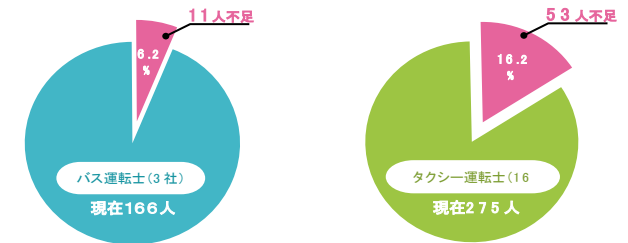
## 先端的服务の概要（3）

## 先端的服务3：中山間地域内限定の移動手段の確保（交通）

## 背景

- 全国的に二種免許保有者は減少・高年齢化の傾向にあり、本市においても同様の状況、数年後には、多くの運転士が退職され公共交通のサービスの維持はできない。
- 現行の交通サービスを維持しようとしたときに本市において 64人の運転士が不足している状況。
- 当該地域を含む阿東地域は広域で、タクシー配車の際の回送距離がとても長い。
- 広域な地域の中に、人家が点在しており、家から駅やバス停までの距離が離れている。
- 高齢化により、地域外への運転が不安で免許を返納される高齢者が増えている。

山口市内で現状の交通サービスを維持するための運転士の不足



## 地域課題

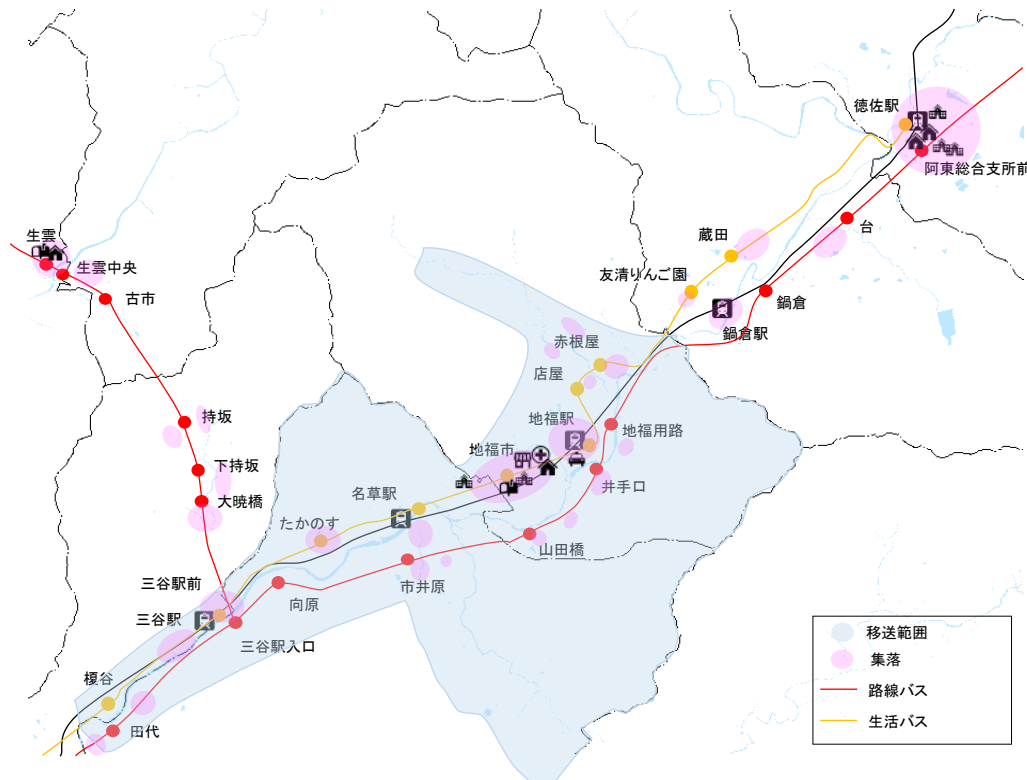
- ◆ 免許返納する高齢者が増えている中、当該地区内には鉄道駅、市生活バス、幹線道路には路線バスが運行しているが、自宅から駅、バス停までの移動（ファーストマイル）が困難なため外出することが難しい高齢者等が多い状況である。
- ◆ 地区内にタクシー事業者が1社あるが、市の委託運行（スクールバス、生活バス）により、タクシーサービスを提供する時間帯に制限があるとともに、サービス拡大に向けては、運転手の確保が課題である。
- ◆ 既存の公共交通では十分な移動のサポートができないことから、地福地区の中央部にある医院又は約30km離れた第二次救急病院までの通院や買い物等の生活用品の購入、通学など、最低限の生活機能を今後も守り、維持していくため、そこまでの移動手段の確保が重要な課題である。

ドア・ツー・ドアにより地域内は自由に移動できる環境を構築

## 取組内容

### ①地域内限定免許の創設

- タクシー事業者が自社の乗務員のみでは対応できない日や時間帯を補完するための仕組みづくりを行う。
- 通常のタクシー事業は、第二種運転免許を保有している者によるが、地域住民（第二種運転免許非保有者）が運転講習を受講したうえで、地域内に限定（自宅～地域内の主要施設の間）した移送については、特別に免許を付与されたものとして移送を実施する。
- 当該地域住民の運転士については、交通事業者との面談により運転経験、年齢等を考慮した上で決定するものとする。



【地福移送範囲】



## 取組内容

### ②地域内限定車両による移動

#### 【地域内限定車両の運転】

- 地域外への運転が不安で免許返納された方、免許を保有していない若者等が運転講習を受講したうえで、地域内の移動に限定して超小型車両の運転を可能とする。
- 普段住み慣れた地域内の移動のため安心して買い物や通院を行うことができる。
- 実証では、車両を用意して地域住民の方へ貸し出しを行うモニタリングを実施するが、基本的には、各個人で所有して地域内の移動に利用してもらう。
- 使用する車両については、２人乗りの超小型車両とし、自動的に時速４０kmの速度制限がかかるとともに、GPSを搭載する中で、地福地区外を超えると警告になるなど、運転可能地区を限定できる仕組みとする。
- 将来的には、こうした超小型車両の自動運転の導入も視野にいて、地域内での普及を図る。

#### 【パークアンドライドの導入】

- 上記取組にあわせて地域外など広域の移動の際には鉄道駅などの敷地にパークアンドライド駐車場を設置して、公共交通への乗り換えを促進する。
- 同様の仕組みで、パークアンドライド駐輪場などの指定の場所までは超小型車両を運転し、そこからは公共交通に乗り換えることにより、  
外出機械、公共交通の利用促進を図る。

#### 【移動データの取得】

- GPS（ロガー）等により位置情報を把握することで地域内の移動データを取得し、高齢者の移動範囲等から地域の保健情報の補足を始め、車両利用によるモビリティマネジメントの実施（外出頻度  
災害時における位置情報を利用した避難誘導、道路状況の把握を



【車両イメージ】



【パーク＆ライド駐車場イメージ（タクシー乗り換え含む）】

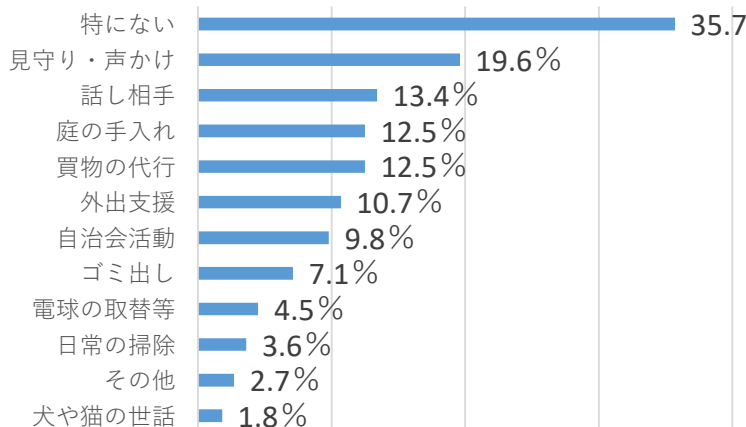


## 先端的服务5：地域の未来や自分の人生を変える究極のインターンシップ（教育）

### 背景

- 阿東地域内にある唯一の県立高校においては、定員割れが続く中、現在、生徒の募集停止に向けて山口県が協議を進めている。
- 阿東地域では、高校時から地域から離れて生活する若者が多く、その後も進学や就職等で地域に帰ってくることが少ないなど、若者の流出に歯止めが利かない状況である。
- 大学等の高等教育機関では、大学の枠を超えて地域や企業等と密接に関りながら、地域課題や社会課題の解決に取り組ながら学びを深めるPBL、いわゆる課題解決型学習を取り入れる高校や大学が増えている。
- 高齢化する地域内においても、高齢になっても役に立ちたいと思う潜在的な支援者がいる。
- 阿東地域では、高齢者が生活していくうえで、移動や買い物、草刈りや庭木の剪定、身近な家事援助など、様々な生活支援のニーズがある。
- ホームヘルパーやシルバー人材センターにおいてもサービスを提供するマンパワーが確保できない状況である。

今後、地域の方に手伝ってほしいと思う支援（阿東地域）



出典：山口市「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果報告書

### 地域課題

- ◆ 若者、とりわけ10代の転出超過が続く中、地域の小中学生が希望をもって、地域で学び、地域への愛着を育み、地域への定着を促す取組が必要である。
- ◆ 人生100年時代において、子どもから高齢者まで、あらゆる世代が生きがいを持って暮らせるように、中山間地域においても、生涯学びつづけられる環境づくりが必要である。
- ◆ 人口減少・少子高齢化が進む阿東地域にいて、山積する地域課題を地域とともに解決してくための、若者等の新たな人の流れを生み出す仕組みづくりが必要である。
- ◆ 阿東地域では、様々な生活支援のニーズがあるにもかかわらず、サービスを提供するマンパワーが確保できないことから、公的なサービスが適用できない、ちょっとした家事支援や近場への移動など、高齢者の困りごとを解決する仕組みが必要である。

地域に新たな人の流れや多世代の交流を生み出す仕組みの構築



①地域の未来や自分の人生を変える究極のインターンシップ

県内外の大学  
市内の高校

学生インターシップ

地域支援センター

社会人  
コーディネーター



カリキュラム  
(PBL)

単位



連携して地域課題  
に取り組む

報酬



オンラインでの  
リカレント教育

地域住民

協力・支援

大学生（通  
年）

地域課題を踏まえたノーコード等を活用したプログラミング教育やICT教育の補助

高齢者に対するデジタル化の支援

市内の高校生（短期）

報酬

経験や自信

サービス  
提供

サービス  
運営

報酬  
地域内ニーズ  
地域課題

地域内の困りごと



地域支え合いマッチングサービス

小・中学生・高齢者

地域課題を踏まえたノーコード等を活用したプログラミング教育やICT教育の補助

高齢者に対するデジタル化の支援



山口情報芸術センター  
Yamaguchi Center for Arts and Media

